

釧路信用金庫の環境への取組みについて

地域に根ざし地域とともに歩み続ける当金庫は「環境問題への取組み推進」を重点課題として掲げ、自然との調和・共存を目指し、様々な活動を通じて環境保全への取組みを実践しております。

【「釧路しんきんエコ宣言」の策定】

〈基本理念〉

私たち釧路信用金庫は、地域環境保全を社会的責任と捉え、役職員全てが認識を共有して、金融機関としての事業活動を通じて自然環境の保護に努めるなど、環境問題に深く関わる信用金庫として、豊かで住みよい地域社会づくりに取り組めます。

【「種の保存活動」の実施】

地域で多くの環境圧にも負けずに何世代にも生き抜いてきた、強い遺伝子を受け継ぐ樹木の「種の保存活動」です。

平成20年6月、阿寒湖小学校の児童が種（ドングリ）から育てたミズナラ（在来種）の苗木300本を、関連会社およびパートを含む役職員とその家族183名の手で阿寒の森に植栽しました。

また、苗木を入れるポットには再生紙ダンボール（風化性材料）で作られた「カミネッコン」を使用するなど環境に十分配慮しました。現在は年1回の除草を行っており、ミズナラの苗木も順調に成長しております。



【カーボンオフセット通帳の導入】

当金庫が通帳を発注すると、通帳の製造過程で発生するCO₂を発注先である印刷会社が計量し、その排出量に見合う削減活動を、カーボンオフセットプロバイダーに依頼して実質排出量を相殺（オフセット）させるというカーボンオフセット通帳を導入しました。当金庫は相殺方法として「森林保護プロジェクトへの投資」を選択しています。



【北海道グリーン・ビズ認定制度の認定】



「北海道グリーン・ビズ認定制度」の「優良な取組み部門」に認定され、平成27年9月29日に更新登録されております。

